

DM1000V2 Editor

主なアップデート内容

V2.3.0

主な更新内容

- macOS 10.15, 11 (Intel/Apple silicon)に対応しました。

V2.2.2-3

主な更新内容

- macOS 10.14 に対応しました。

V2.2.2

新機能

- Mac OS X Lion に対応。
- Mac OS X Snow Leopard に対応。

V2.2.1

新機能

- Cubase 5 (64bit 版) のデバイスメニューからの起動に対応しました。64bit 版の Studio Manager V2 Host と共にお使いください。

V2.2.1

新機能

- Windows 7 に対応。

Windows 7 で使用する際の既知の問題

- Editor をインストールする際、デフォルトのフォルダー以外を選択してインストールした場合、Editor でセーブしたデータ(拡張子 *.D2X など)のアイコンが正しく表示されません。

修正した不具合

- メニューバー操作でフリーズした場合に、デスクトップをクリックするなどの操作で正常な状態に復帰できるように修正しました。メニューが表示されると同時にカーソルをタイトルバーに移動したり、メニューを表示させた状態でマウスを左右に何度も動かすと、お使いのコンピューターや OS によってはまれにエディターがフリーズする場合があります。

V2.2.1

改善点

- Editor が Cubase 上で使用される際の内部処理を改善しました。

修正した不具合

- Patch Editor ウィンドウの INPUT PATCH ページで、OMNI IN のポートネームが編集できるようになりました。

V2.2.0

修正した不具合

- Mac OS X 10.5 に対応しました。
- ユニバーサルバイナリ形式になり、Power PC および Intel プロセッサ搭載の両方の Macintosh コンピューターに対応しました。
- Patch Editor ウィンドウで、スクロールの不具合を修正しました。
- 本体側のサンプリングレートを変更したときに、エフェクトの設定が本体とエディターで食い違うことがある不具合を修正しました。
- 本体との同期が完了してもマウスカーソルが矢印に戻らないことがある不具合を修正しました。
- Layer ウィンドウ上でクリックすると、背面に隠れていたウィンドウがアクティブになることがある不具合を修正しました。

V2.1.3

修正した不具合

- カレントシーンとグループアサインが異なったシーンメモリーをリコールした場合に、RECALL SAFE がかかっているにもかかわらず、グループアサインが変更されてしまう不具合を修正しました。
- シーンライブラリーのウィンドウにて INPUT PATCH/OUTPUT PATCH を変更すると、予期しない場所に STORE されてしまう不具合を修正しました。
- CubaseSX3 上で StudioManager を起動し、そのうえで Editor を起動していると、CubaseSX3 上でスペースキーが効かなくなってしまう不具合を修正しました。